名大の歴史をたどる

第10回　名大祭のあゆみ

名大史ブックレット7
『名大祭―40年のあゆみ―』

---

1. 名大祭の誕生(pp.12-19)

工学部の東山地区移転
（1955年）
経済学部の東山地区移転
（1959年）
法学部の東山地区移転
（1959年）
地理的環境の改善

「60年安保条約改定」問題
（1958～1959年）
伊勢湾台風被災者救援活動
（1959年）
「学生運動」の高揚

⇩

名大史上初のフェスティバル
名大祭

---

2. 1960年代の名大祭(pp.19-28)

＊テーマの特徴（p.21）：
「人民」「祖国」「民族」「連帯」「真理の砦」・・・

＊テーマ関連企画：
「テーマ講演会」と「全学シンポジウム」
「全学フェスティバル」「民族の心を呼ぶもの」
「若者の集い」

↓

学生の要求実現の場
一般市民との交流・連帯の場

---

3. 1970年代の名大祭(pp.29-33)

＊テーマの特徴（p.30）：
メインテーマ　「青春」「歌」がキーワード
サブテーマ　≒　1960年代メインテーマ
＊テーマ関連全学企画の廃止

社会情勢：
ポスト「大学紛争」
高度経済成長期における大学のマス化

↓

一般市民との交流の場

---

4. 1980年代の名大祭(pp.33-39)

＊テーマの特徴（p.34）：
メインテーマの簡潔化（抽象化）
サブテーマの消失

＊「テーマ企画」の減少

＊「アトラクション企画」の増加

↓

オムニバス的な名大祭

---

5. 1990年代の名大祭(pp.39-44)

＊テーマの特徴（p.40）：
メインテーマの簡潔化（抽象化）
サブテーマの消失

＊「名大生が参加しない名大祭」

＊「お祭り企画」の登場と増加

↓

「学生層を引き戻す、魅力ある名大祭づくり」の模索

6. 名大祭の未来(pp.44-46)

＊1960-1970年代：
「確固とした目標があり、一致団結してそれに向かうという強さ」

・1980年代以降：
「万人が気軽に集い、そのエネルギーを結集し、参加者皆が交流できる場」

↓

二者択一的な問題ではない。

名大の歴史をたどる

次回は・・・

第11回　名古屋大学のスポーツのあゆみ

名大史ブックレット3

『名古屋大学　スポーツのあゆみ』